

<p>全教育活動を通した「ひとづくり」</p>	<p>ねらい</p>	<p>① 一人一人の生命は、かけがえのない大切なものであることを実感させ、生きていることのすばらしさと喜びにふれさせる。<b>(大切な一人一人…「いきる」)</b></p> <p>② どんな状況や困難においても、決してあきらめず、夢や高い志をもって、強く生き抜いていこうとする心の育成に努める。<b>(決してあきらめない心…「いきる」)</b></p> <p>③ 自分自身を取り巻く多くの人々と、ともに考え、支え合いながら前に進んでいくことの大切さを実感させる。<b>(みんなで支え合って前へ…「かかわる」)</b></p> <p>④ 災害や事故から生命や体を守る意識や知識、技能を身につけさせる。 <b>(危険から命を守る…「そなえる」)</b></p>
-------------------------	------------	--

## 復興教育を通して子どもたちに身に付けさせたい力（復興教育の視点）

	身に付けさせたい力 （復興教育の視点）	教育的 価値	大事にしていくこと
①	一人一人の命は何にもかえられぬ、かけがえのない大切なものであることを実感させ、生きていくことの素晴らしさと喜びに触れさせる。	いきる	◎ <b>自他を尊重する態度の育成を</b> ○友達（相手）の話を真剣に聞くこと ○相手を受け入れる姿勢をもつこと ○互いに認め合い、高め合うこと ○相手の立場を考えること
②	どんな状況や困難においても、決してあきらめず、夢や高い志をもって、強く生き抜いていこうとする心の育成に努める。	いきる	◎ <b>あきらめずにやり抜いた喜びを実感させる場の保証と価値づけを</b> ○最後まで取り組むこと ○できるまで取り組むこと ○取り組む時間を保証すること ○生き方や考え方に触れる機会をもつこと ○目標を自己決定すること
③	自分自身を取り巻く多くの人々と、ともに考え、支え合いながら前に進んでいくことの大切さを実感させる。	かかわる	◎ <b>人としてのよりよい生き方・かかわり方を考えさせて</b> ○学び合い、高め合う学習 ○縦割り班活動 ○人との関わり ○ちょボラ ○ボランティア活動の交流
④	災害や事故から生命や体を守る意識や知識、技能を身につけさせる。	そなえる	◎ <b>自分の命は自分で守ることの危機意識の醸成を</b> ○安全な教育環境づくり ○危険なことをしない、危険なものに近づかない ○災害時の身の守り方・行動の仕方 ○訓練で学んだことを記録する ○少年消防クラブの一員としての自覚を促す

## 自分の役割を自覚させる（高めたい自分のめあてを自己決定させる）⇒復興学習全体集会（4/17）

### 1 ねらい

- ・ 今後の復興を担っていく一人として、自分はどんな姿になりたいか（自分の役割を自覚させ）、達成、実現に向けて真剣に取り組もう（責任を果たそう）とする態度を育成する。

### 2 集会の概要

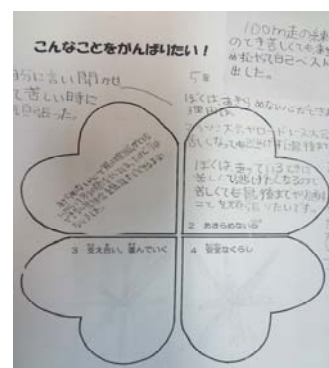
- (1) 3. 11のときの自分の行動について想起させ、当時の状況（被災地の写真、児童作文）にふれる。
- (2) 現在の被災地の写真から、完全に復興するには今後何十年もかかることを理解させる。
- (3) 東北を応援するメッセージに対する中学生の作文や海外からの支援の新聞記事から、自分たちにできることはないか、「自分の役割」を考えさせる。  
\* 「自分の役割」…復興教育の4つのねらい（上記①～④）に照らして、課題としていること・もっと高めたいことをめあてとして自己決定させ、用紙に書き込ませた。

### 3 その後の復興学習

めあて用紙は、各学年で掲示し、行事や関連する活動の都度、振り返りを記入させてきた。学期末には、反省をして「自分の役割」を見直し、新たなめあてをたてさせた。



【復興学習コーナー】



【子どものめあて用紙】

平泉町立長島小学校

## 身に付けたい力を培う教育活動（全教育活動を通じた実践）→自分の役割の追究（4/17～H26. 3/11）

教育活動

4つの視点に沿った振り返り



### 実践1 復興教育の重点②『決してあきらめない心』（「いきる」）

2年 道徳 主題名 「しっかりやろうね」（資料名 書き方の時間のこと）

#### 1 ねらい

苦手な学習や気が乗らない仕事であっても、一生懸命に取り組むことの大切さと、やり終えた後の達成感と喜びに気づかせ、しっかりと行おうとする態度を育てる。

#### 2 学習の様子

（『いい字ですね。』と褒められた時、どんな気持ちだったか。）

をワークシートに記入）

C 「なんかすっきりしたな。」

「やっぱりじぶんの字じゃないと、だめだもんね。」

「いい気持ちだな。」

T あんなにやめてしまいたいと思っていたのに、また書きました。

どうして書くことができたのでしょうか。

C まだなくなっていなかった、がんばる心がそうさせたと思います。

C あきらめたくないと思ったから。

T みんなの周りに、あきらめないで頑張っている友だちがいますね。

C うんていが1学期は全然できなかつたけど、毎日練習しているうちに全部クリアできるようになりました。



【子どもたちの考え】



【ふさだしに自分の気持ちを書く】

#### 3 考察

子どもたちは、投げ出したくなった主人公、しかし励ましをきっかけに頑張った主人公に共感しながら自分の考えを伝えていた。授業を通して、人の心の中にある弱さやそれを乗り越えようとする心の強さに触れた。その後、実際に乗り越えようとしている子どもの姿を見取り、紹介しながら、授業で学んだこととつなげていったことにより、「決してあきらめずにがんばる」という気持ちを育てることにつながった。

### 実践2 復興教育の重点③『みんなで支え合って前へ』（「かかわる」）

1年 生活科「いっしょがいいね」（家族の中の自分の役割）

#### 1 ねらい

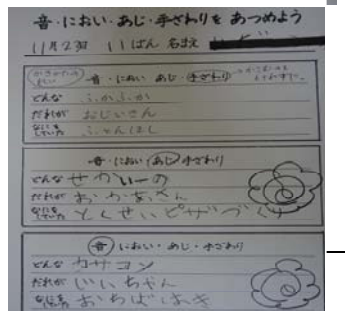
- ・ 家族の中の自分の役割を考え、積極的に果たそうとする態度を育てる。
- ・ 規則正しく健康に気をつけて生活することが家族の願いであることに気づき、実践することができる。

#### 2 学習の様子

- ・ 家の人と一緒にやって楽しかったことなどについて話し合う。
- ・ 家の人がどんなこと（仕事）をしているのかを諸感覚（音、におい、味、手ざわりなど）を使って調べる。
- ・ 家の人と一緒に、家の仕事に挑戦し、家の人からメッセージをもらう。

#### 3 考察

- ・ 身近にいることがあたりまえで、その存在についてあまり考える機会がなか



った家族について調べたり、家の仕事と一緒に挑戦したりする活動を重ねた。子どもたちからは、「家の人が自分たちのためにたくさんのことをして支えてくれている」「家の仕事を一緒にして、『ありがとう』と言われてとても嬉しかった」という声があった。この実践を通して、家族は、互いに協力し合い、支え合っていることを実体験を通して感じ取らせることができた。

【子どもの実践カード】

平泉町立長島小学校

### 実践3 「復興教育の重点④『危険から命を守る』（「そなえる）」 4年社会科「家族とたてよう防災計画」

#### 1 ねらい

4年生の社会科の学習「安全なくらしとまちづくり」の発展として、防災について自分たちができることを考え、備えようとする態度を育てる。

#### 2 学習の様子

##### (1) 岩手県総合防災センターでの体験学習

体験学習の内容は①講義②暗闇・煙体験③救助袋避難体験④放水体験⑤消防車乗車⑥地震体験である。講義の中では、「自分の命を最優先で守ることが大切であること」「いつ来るかわからない災害に向けて備えることが大切であること」などを教わった。その中で、「釜石の奇跡」についてふれ、「津波てんでんこ」という、家族が



ばらばらで被災したときそれぞれの判断でどう行動すればよいのかをあらかじめ決め、避難することができたことが多くの命を守った。【日頃の備えについてのお話を聞く】

たことを聞かされた。そして、自分で自分の命を守ることを「自助」ということを知り、家族で避難の方法などを決めておくことを約束した。

私が、防災センターで学んだことは、自分の命は自分で守ることと、協力です。協力すればみんなの命を守れると思いました。

災害時に必要なものを普段からそろえて、地震に備えたいと思いました。

##### (2) 家族で考える防災計画づくり

防災センター見学後、さっそく「自助」として、自分たちができることは何なのかを考える授業を行った。その中身として考えたことは、①身の回りの危険箇所や家庭内の危険箇所を調べること②地域の避難場所を確認すること③もしも一人で災害にあった時の連絡方法や一次避難場所を家族と確認すること④家の緊急災害時の非常持ち出し品調べの4点である「もしも、通学途中や友達と遊んでいるときなど、大人がいないときに地震などが来たらどうしますか？」の問いには、「近所のお店で電話を借りて連絡を取る。」といった意見が出される一方で、「東日本大震災のときは、電気などが止まって電話も通じなかった。」「友達と近所の公民館に避難する。」といった、震災の経験を生かした発言もみられた。授業後、下記のような学習シートを家庭に持ち帰り、相談したことを記入させた。このシートは、子どもたちのランドセルに常備させ、いざというときに見られるようにした。

もしも、友達の家などで地震にあったら、どこに避難するかがわかりました。友だちといっしょに落ち着いて逃げたいです。

電話が通じなくなったら大変だと思いました。おうちの人と相談して逃げる場所を決められたので、いざというとき生かしたいです。

**自分で自分の命を守ろう**

地域の避難場所（近所の人たちが避難する場所）例 学校・公民館など  
21区 長島体育館  
(長島小学校)

一人でいるとき地震が来たら

家族への連絡

順番	名前	連絡先	電話番号	携帯電話
1	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)
2	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)
3	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)	(長島小学校)

連絡がとれないときの避難場所（電話が通じない！）  
① (長島体育館) ② (長島小学校)

その後どうやって家族と集合するの？  
(みんな、長島体育館に行く。)

【家族で相談して作った『緊急時の約束カード』】

**3 考察**

- ・ 体験学習により、防災（地震、津波、火事への対処）に対する知識や技能を身につけることができた。
- ・ 防災について家族と話し合うなどして、自分自身に関わる問題として深くとらえ、避難の仕方や家族での約束を再確認することができ、日常的に災害に備える気持ちが育ってきた。

平泉町立長島小学校

**実践4 復興教育の重点『みんなで支え合って前へ』（「かかわる」）**

**3年道徳・総合的な学習の時間 道徳 主題名：わたしたちができることは 資料名：耳をおいて出かけられますか**

**1 ねらい**

- (1) 社会には、さまざまな事情をかかえた人がいることを知り、思いやることの大切さを理解し、温かい心で人に接する態度を育てる。
- (2) 手話を学習することにより、障害のある人と積極的に交流を図ろうとする態度を養う。

**2 指導計画（3時間扱い）**

<1時間目>

- ・ 耳栓をして小さい音の世界を体験し、耳の不自由な人が困っていることを感じ取らせるとともに、それを補うために聴導犬がいることを理解する。
- ・ コミュニケーションの一つとして、指文字があることを知る。



【手話で挨拶をする練習をする】

<2時間目>

- ・ 耳の不自由な人と交流を図るための指文字で名前の表し方を練習し、手話について知る。

<3時間目> \*ゲストティーチャーをお呼びして

- ・ 耳の不自由な人と交流を図るための手話を学習し、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**3 学習を終えた子どもの声**

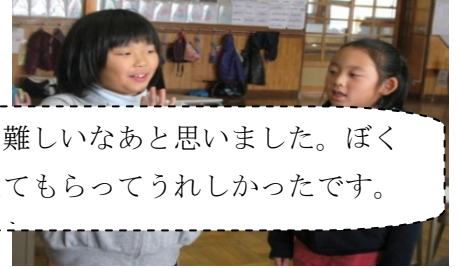
実際に耳栓をして試してみたら、みんなの声や先生の声が聞こえませんでした。耳の不自由な人の気持ちがちょっとわ

手話を学ぶことができてよかったです。もっと学びたいと思いました。

【自分の名前を手話で表現する】

耳の不自由な方に積極的に声をかけたいです。

手話や指文字とかは難しいなあと思いました。ぼくは、手話のことを教えてもらってうれしかったです。



#### 4 考察

子どもたちは3時間の授業を通じて、耳の不自由な人たちにどう関わっていけばよいのかを体験を通して学ぶことができた。日常生活の中では、耳の不自由な人たちと接する機会はそれほどないが、その人たちがどんなことで困るのが分かった。また、ゲストティーチャーの話からは、東日本大震災で避難所に避難した耳の不自由な人たちが、食料の配給の時にも耳が聞こえないために理解できず、とても不安な気持ちで過ごしていたことも3年生なりに理解できた。「耳の不自由な方に声をかけたい」などの感想があり、支え合ってともに進む気持ちを育てることにつながった。

### 伸び、高まり、変容を確かめ合う教育活動 → 復興学習3. 11全校集会 (3/11)

一年間の復興学習を振り返り、めあて（自分の役割）について、自分がどのように変容したのか、それは何がそうさせたのかを書き留めたものを全校で文集にする予定である。3. 11全校集会では、その文集をもとに、めあてに向かってがんばり続けることができた理由を交流させる予定である。これまでの学習では、「友達と励まし合って」「友達がかんばっている姿を見て」ということを理由として挙げている子どもが多い。集会では、具体的に話をさせることで「〇〇さんが、かんばっていたので…」のように、一人一人の存在の大切さに返したり（重点「大切な一人一人」）「〇〇さんが、一緒にやろうと声をかけてくれたので…」のように互いに支え合うことの価値に気づかせたり（重点「みんなで支え合って前へ」）しながら、一人一人が自分の役割をしっかり果たすよう努力することが、いわての復興につながることを意味付け、価値付けすると共に、次年度目指す自分の姿を具体的に描かせたいと考えている。

### 自分の役割を自覚させる（高めたい自分のめあてを自己決定させる）⇒復興学習全体集会 (4/17)